

おじいちゃんの歯とわたし

八木原小学校 三年 眞野 ひより

「おじいちゃん！ 歯どうしたの？！」

ある日、私はいつものようにおじいちゃんとおばあちゃんの家遊びに行つて、前歯が一本なくなつていゝるおじいちゃんを見て、とてもおどろきました。おじいちゃんは少しはずかしそうな顔で、「前歯が抜けちゃつたんだよ。」といゝました。部屋のおくからでてきたおば

あちゃんが、

「おじいちゃんのお顔、おもしろいでしょ。」とわらいました。それにつられて、わたしも

わらつてしまいました。

おばあちゃんが用意してくれたお昼ごはんを食べる時、食べるのが大すきなおじいちゃん

が、その日はなんだか食べにくそうでした。

「食べるの大変なの？」

と私が聞くと、

「ちよつとだけね。」

